





G-SHOCK



swish & sensuous





MOTUL













**BATTLE FACTORY** 

Project (



YF DESIGN ST

GARAGE (Ittractive)

## CBR250R CUP ROADRACE

2013 年 CBR250R CUP 鈴鹿グランドチャンピオン大会 鈴鹿サーキット [12 月 1 日(日) 決勝 天気 晴れ]

#56 名越 哲平 [予選: 6位. 決勝: 3位]

念願のグランドチャンピオンシップ大会に出場すること ができました。

予選では、クリアラップを取ることができず6位となりま したが、鈴鹿のコースにも慣れてきたので手ごたえは 感じていました。

決勝は予想通りの混戦となり、監督の指示通りトップグ ループでの主導権を握れるような走りを心がけました。



他者の転倒の影響もありトップには逃げられましたが、最終ラップでの表彰台争いでライバルを抑 え、3位表彰台を獲得することができました。

優勝は出来ませんでしたが、この2年間、チームのお陰でライダーとして成長することができ、全国 大会で表彰台に上ることができました。

これでチームは卒業となりますが、今後のレースでもこの経験を活かしがんばりたいと思います。

## #62 櫻井 芽依 [予選:27位, 決勝:19位]



まずは、グランドチャンピオンシップ大会に出られたこと が嬉しかったです。

鈴鹿はまだ自分でも攻めきれず、予選ではベストタイム を更新することができませんでした。

決勝は、スタートが決まり順位を上げられたので、他の 速い選手達と同じグループで走ることができ、勉強にも なり楽しんでレースをすることができました。

今年は、自分の走りの課題も分かってきたので、それを来シーズンに向けて克服出来るように頑 張っていきたいと思います。

## 【56RACING 監督: 中野 真矢 コメント】

チーム、そしてライダー共に、今年の集大成を見せられるようにとレースに臨みました。 哲平選手に関しては、この2年間、チームのエースライダーとしてのプレッシャーの中、真剣にレー スに取り組み大きく成長してくれました。今年でチームは卒業となりますが、この経験を次のステッ プに活かしてくれると思います。

芽依選手は、250cc にステップアップして 1 年目のシーズンでしたが、限られた時間の中、人一倍 練習を重ね課題を克服して行った結果、全国大会出場を決めるなど今後の可能性を感じさせる走 りをしてくれました。

来シーズンも引き続き、この CBR250R CUP に出場出来るように体制を整えて行きます。

この 1 年間、チームのサポート、そして 16 歳の若いライダー2 人の応援、ありがとうございました。

OfficeFourEight